



■発行年月日/2015年7月1日 ■発行/独立行政法人国立病院機構千葉医療センター ■発行責任者/院長 増田政久 ■編集者/副院長 杉浦信之  
〒260-8606 千葉市中央区椿森4-1-2 Tel 043-251-5311 Fax 043-255-1675 <http://www.hosp.go.jp/~chiba/>



「明け方の蓮」

撮影：放射線科 山口 恭子



### 千葉県の地域災害拠点 病院の指定を受けて

院長 増田 政久

本年4月1日に、当センターは千葉県の地域災害拠点病院の指定を受けました。

国立病院機構の第3期中期計画では、国の危機管理に際し病院機能に応じて求められる医療を積極的に提供することで地域貢献を果たすことをうたっています。また従来の千葉県地域防災計画では、災害時に通常医療が受けられなくなった住民に対して、救護所の設置や医療チームの派遣などを行う機関の一つとして当センターは位置付けられ、2次医療圏(千葉市)単位では、「千葉大学医学部付属病院」、「千葉県救急医療センター」、「千葉市海浜病院」が地域災害拠点病院としてすでに指定を受けています。

平成23年3月の東日本大震災は、千葉市を含め千葉県内にも多

くの災害をもたらしました。また最近では首都直下型地震が想定され、深刻な危機管理が叫ばれています。今回、災害派遣医療チーム(DMAT)を立ち上げ、またお隣の椿森中学校の校庭の一部をヘリコプターの離着陸場として承認を頂き、指定を受けました。あくまで想像ですが、災害拠点病院の配置バランスや地理的条件が考慮されたのかもかもしれません。東日本大震災以降、非常時に通常医療が少しでも維持できるようインフラの整備や食料・医薬品の備蓄には努めて参りました。今回の指定を受けて、県・市および災害医療センターの指導・助言をもとに体制作り、災害訓練計画の作成・年度内の実施に向けて院内で議論を始めたところです。大災害時の状況は想像できず、混乱の中で常識が全く通用しないことも考えられます。少しでも地域の皆さんの役に立つには平時からホームページなどで情報を提供し、予め理解と協力を得ながら、災害拠点病院の責務を果たしていこうと考えています。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

YAMAMOTO (長)	新任挨拶	2~3
	新臨床研修医紹介	3~4
	連携医院紹介 / 地域医療連携室だより	5
	診療トピックス(抗がん薬)	6
	ANECDOTA 「隠れた史実」	7
	叙勲/夏の食事フェスタ予告/病棟紹介(4階東)	8
	千葉看護学校だより/学生フォーラム/63期生入学式/看護の日	9
	永年勤続表彰伝達式	10
	市民健康セミナー/専門外来・検査担当医師表/編集後記	11
	外来診療担当医師表	12

### 主な行事予定

- 7/ 3 千葉県下看護学生体育大会
- 7/20 トトロの夏祭り
- 7/23 第146回市民健康セミナー
- 7/25 } 平成28年度関東信越グループ
- 8/ 1 } 採用試験(看護職員)
- 9/24 第147回市民健康セミナー

## 新任挨拶



### 新任のご挨拶

教育研修部長 **重田みどり**

2015年3月まで、杉浦信之副院長が教育研修部長を兼任され、その指導のもと医師臨床研修の充実に努めてまいりましたが、4月より教育研修部長を拝命することとなりました。新たに、鈴木正人教育研修室長を迎え、事務は坂野和彦庶務班長、小西由季さん、研修医は1年目12名、2年目6名で新年度をスタートしました。

今年度は当院に由来からある臨床研修プログラムに加え、千葉県国立病院機構4病院連合研修プログラムを新しく開始しました。千葉東病院、下志津病院、下総精神医療

センターとの交流が増え、2年後に迫る新専門医制度においても、専攻医(後期研修医)の研修で連携していきます。現在、専攻医の専門研修プログラムを作成中です。

研修協力施設の国保匝瑳市民病院、国保多古中央病院、千葉県救急医療センター、千葉県こども病院の先生方におかれましては、日頃のご指導に心より感謝申し上げます。また、当院各診療科の先生方の熱心なご指導および病院スタッフの皆様のご協力に感謝申し上げます。病院内のすべての職員の皆様が指導者であり、医療にかかわる者としての手本です。医師臨床研修について、何かお気づきの点がございましたら、何なりと教育研修部までお申し付けください。今後も良質な臨床研修が続けられるように尽力して参りますので、皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



### 新任のご挨拶

管理課長 **木村 寿**

4月1日付で横浜医療センターより管理課長としてまいりました、木村と申します。千葉医療センターで勤務できることを、大変光栄におもっております。

当センターは27年4月より、地域がん診療連携拠点病院の継続承認、地域災害医療拠点病院の承認等更なる進化を続けており、近郊の医療機関や患者さんからの期待も大きい病院であると思います。

私も、地域の皆様方からの要望等に少しでもお応え出来るような病院としていくため、微力ではありますが努力していく所存でありますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 着任のご挨拶

経営企画室長 **久米 俊**

4月1日付の人事異動で皆さんと一緒に仕事をさせていただくことになりました、経営企画室の久米と申します。私は北海道の函館市に生まれて、国立札幌病院、国立療養所稚内病院ほか4カ所を経て、平成16年に国立看護大学校に配置換えとなり、その後は、東京病院、水戸医療センター、神奈川病院でいろいろと経験をさせていただきました。千葉県は初め

での土地ですが、皆さんには優しく接して頂き、千葉の温暖な気候も空を飛ぶ飛行機を見るのも楽しくて、まだまだ慣れない仕事で皆さんには多々ご迷惑をお掛けしておりますが、これからも楽しく仕事ができるのではないかと考えております。

千葉医療センターに着任したときには、外観はもちろんのこと院内もとても明るく新しく、広々として、職員の多さにも驚き、その反面、身の引き締まる思いでした。

多種多様なアイデアを生み出し続けている千葉医療センターの職員の皆様に、少しでも近づけるよう頑張る所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。



### 赴任のご挨拶

看護学校 教育主事 **長谷川 幸恵**

4月1日付で信州上田医療センター附属看護学校より転任となりました。

前任の信州上田医療センターでは、教育主事室からは春

には桜、この時期には杏、秋には曼珠沙華、2~3月に梅の花が咲き、窓から見える風景で季節を感じることができました。冬は零下5度以下になることもしばしばあり外に出ると耳や顔が痛くなることもありました。

今回は2年ぶりの大型校での赴任となり、前施設の倍の人数の学生さんに圧倒されつつ、齊藤副校長先生をはじめ職員の皆様に助けられながら仕事をしております。千葉

医療センター附属千葉看護学校の学生さんは、とても素直で元気があり、のびのびとしている印象があります。また、学校の教育理念である「共学相長ず」という言葉は、学生のみならず、教員も学生と共に学ぶ姿勢を持つという言葉

の意味があります。私も初心に返り、学生から多くのものを学べるよう目を開いていこうと思います。

まだまだ、慣れないことが多く皆様にご迷惑をおかけすることが多いと思いますがよろしくお願い致します。



## 形成外科診療体制変更のお知らせとご挨拶

形成外科医長 鈴木 文子

本年3月末、当院に形成外科が開設されてから8年間当科を率いて来た輪湖医長が異動となり、それに伴いまして4月から後任で形成外科医長を拝命することとなりました。

私は2009年7月に当院に赴任いたしました。赴任当初、近隣の特に皮膚科の先生方から直接当科へたくさんの患者さんをご紹介いただいていることを、とても新鮮に感じたことを印象深く覚えております。当初は皮膚科の先生方からのご紹介が中心でしたが、近年では内科や外科その他各科の先生方からも様々な症例をご紹介いただき、6年の間とても貴重な経験を積ませていただきました。これまでの

経験を生かし、地域医療の中で形成外科がお役に立てますよう微力ながら尽力していきたいと思っております。

また、当科ではより多くの患者さんが受診しやすいように、火・木・金曜日の外来日全てで初診の患者さんにも対応してまいりました。一方で、予約患者さん優先で診療していたため、初診の患者さんを何時間もお待たせしてしまうことが度々ございました。この点の改善を目的に、今年4月から新患診察日を火・金曜日にさせていただきました。再診予約を木曜日中心に調整することで、初診の患者さんの待ち時間が短縮できるようになってきました。皆様方にはご不便をおかけする点もあるかと存じますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、「千葉医療センターを紹介してもらってよかった」と言っていただけの医療を提供できるよう努力して参りますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。



## 新任挨拶

脳神経外科医長  
兼脳血管センター長 大石 博通

この度平成27年6月1日付で、脳神経外科医長（兼脳血管センター長）を拝命いたしました大石博通と申します。

私は平成3年に長崎大学を卒業し、千葉大学脳神経外科教室に入局いたしました。その後20年余り、大学病院や千葉県救急医療センター、君津中央病院等の関連病院

で研修を行って参りました。

私的な事情により平成24年4月から実家のある福岡県の病院へ移っておりましたが、この度千葉大学脳神経外科医局へ戻ることとなり、千葉医療センターで勤務させていただくこととなりました。

専門としておりますのは脳卒中診療全般です。中でも脳血管内治療を専門にして参りました。

今後、当院でも脳血管内治療を始めさせていただきたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

## 新臨床研修医紹介

### 4病院連合プログラム



江井 裕紀

静岡県の浜松医科大学より参りました。4病院プログラム初の採用を頂けたということで、本年度は千葉医療センターよりも他の病院にいる期間の方が長いのですが、色々ご指導頂けたら嬉しいです。まだ出来ないことばかりで、ご迷惑おかけすることも多いですが、全力で頑張っていきたいと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。

### 協力型プログラム



廣岡 千草

千葉大学協力型プログラムで1年間お世話になります。1年間ではもったいないと思えるほど、充実した研修医生活を送っております。先生方をはじめ、病院スタッフの方々には迷惑ばかりかけておりますが、成長できるよう頑張りますので御指導のほど宜しくお願いいたします。



### 佐脇 麻里亜

4月から千葉大学協力型プログラムでお世話になっております。

あっという間の2ヶ月でしたが、まだまだ慣れない事ばかりで皆様にご迷惑をおかけしています。先生方やスタッフの方々の暖かいご指導や患者さんに多くのことを日々学ばせて頂き、大変ありがたく思っております。今後ともよろしく願い申し上げます。



### 鈴木 惇也

千葉大学協力型プログラムで1年間お世話になります。研修が始まり2か月が経ちましたが、まだまだ慣れない事ばかりでご迷惑おかけしております。優しい先生方やスタッフの方々に支えられて、日々研修させて頂いております。

少しずつでも成長できるようこれからも精進していきますので、今後も引き続きご指導よろしくお願い致します。



### 岡田 和樹

千葉大学協力型プログラムの一環で1年間お世話になります。研修が始まって約2ヶ月、先生方やスタッフの方々にはいつもあたたかく丁寧に指導いただき、このようなアットホームな雰囲気の中で研修させていただいていることを大変幸せに感じております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 佐々木 拓馬

千葉大学病院研修プログラムの一環として、1年間お世話になります。獨協医科大学卒業の佐々木拓馬です。千葉県という慣れない土地での生活が始まりましたが、先生方を始めとする暖かい医療スタッフの皆様のお陰で充実した日々を過ごすことができている。短い期間ではありますが精進して参りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

## 基幹型プログラム



### 山縣 寛之

4月より初期研修医としてお世話になっております。採血や挿管など、初歩の初歩ではありますが今まで出来なかった事が少しずつ出来るようになり日々成長の喜びを感じています。これも皆優しく指導し見守って下さる先生方や病院スタッフの方々のおかげであります。

一日も早く恩返しできるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



### 飯塚 未花子

基幹型で2年間研修させていただきまず。先生方をはじめとスタッフの皆様がとても親切で丁寧に指導して下さり、毎日新しいことを吸収して自身の成長を実感しながら働かせていただいております。この病院で、一人前の医師になるための基盤をしっかりと作っていきたく思いますので、今後とも御指導のほど宜しく願い致します。



### 富士 誠矢

基幹型で2年間お世話になります。人一倍不器用なため、スタッフの皆様には多々ご迷惑をおかけしてしまうことがあるかと思いますが、少しずつでも自分のできる事を増やし、お役にたてるよう努力したいと思えます。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



### 菊地 悠平

縁あってここ千葉医療センターにて4月より初期臨床研修をさせていただいております。まだ勤務開始より日は浅いのですが、上の先生方を初めとして同期、職員の方々、そして患者さんにはやさしくしていただいております。大変恵まれた研修生活で、ここに来て良かったと日々感じております。精進してまいりますので皆様、何卒よろしくお願い致します。



### 鈴木 里実

今年度より基幹型臨床研修医として、2年間お世話になります。

研修が始まり、はや数カ月が経ちました。わからないことばかりで焦る日々ですが、その都度指導医の先生をはじめ、看護師、薬剤師、技師、栄養士などたくさんコメディカルの方々にご指導いただき、大変感謝しております。

今後ともよろしくお願いいたします。



### 川瀬 勝隆

研修医1年目の川瀬勝隆と申します。基幹型で2年間お世話になります。

何もわからない状態で皆様にご迷惑をおかけしておりますが、指導医の先生方、コメディカルの方々に優しくご指導いただきまして、とても充実した研修をさせていただいております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

## 連携医院紹介

### 信愛クリニック

千葉市花見川区さつきが丘 2-1-1-109  
☎ 043-441-3817

院長 武藤 敦

当院がさつきが丘で在宅支援診療所を始めて5年が経ちました。患者さんの概要としては、男性39%（平均年齢80歳・一人暮らし率15%）、女性61%（平均年齢83歳・一人暮らし率13%）、疾患別では、認知症26%、難病19%、脳卒中16%、がん12%、生活習慣病・その他28%、といったところです。

訪問診療の依頼理由として多いのが、『外来通院の困難』です。花見川区にはすでに超高齢率の地域もあり、かつ、介護度3以上の方でもエレベーターのない4～5階フロアに長年お住まいとか、交通の利便性と住み替え手続きの簡便さが急務となってきました。



そのような生活状況の中で、“千葉地域ネットワーク”は非常に難しいシステムだと感じております。

医療と生活を繋げる企画力と、コスト投資の経営手腕を基に、何よりも知恵と情報の公開という開かれた体質が、地域医療の機能分化が進展しているのを感じております。

ネットワークで得た情報を参照に、在宅での治療の質と効率の向上をはかるべく、患者さんとケアマネージャーと訪問者護・介護と薬局の人たちと力を合わせていきたいところです。

### 医療法人社団 オリーブ会 いとう新検見川クリニック

千葉市花見川区花園 1-9-18 クリニックガーデン花園 3B  
☎ 043-272-3213

院長 伊藤 靖

当院の1日をご紹介します。

>>> 『朝7:40から経鼻内視鏡を開始。胃癌の早期発見とともにピロリ菌感染者の除菌を積極的にすすめる。2名の内視鏡検査が終わるころには、放射線技師と臨床検査技師が、乳がん検診者のマンモグラフィや乳腺エコーの検査を始めている。(なお週2日は、その後の上部・下部内視鏡の検査を非常勤医師に引き継ぐ。)マンモグラフィとエコーの精度管理は大変重要であるため、その読影に当たっては、技師たちと連絡を取り合いながら行う。しばしば、モニター画像を食い入るように見る時間が続く。結果は当日に検診者に説明し、悪性が疑われれば、できるだけ当日中に細胞診や針生検

をする。外傷の患者さんが来院したら、必要に応じてその処置を優先する。その他に、外来の内科患者さんの診察にあたる。』

<<<



おおよそ当院の1日は以上のものであり、広くはありませんが院内のあちらこちらを移動しながら、仕事をしています。約25年間、病院勤務医として消化器外科・乳腺外科の診療に従事してきましたので、私ができることは微力で限りますが、私のできることは地域の皆様に提供できるようにと思ってやっています。

これからも、千葉医療センターの先生方やスタッフの方々にご指導・ご助力を仰ぎながら、良い地域医療連携を築いていきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

## 地域医療連携室だより

### 皮膚科外来診療受付時間の変更について

当院皮膚科外来では、諸事情により常勤医1名となりますが、これまでどおり手術・入院の対応もさせていただくため、当面の間、診療受付時間を右記のとおり変更させていただくこととなりました。地域の医療機関の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

#### <現行受付時間>

平日 8:30～11:00

#### <新受付時間>

平成27年8月3日より 平日 8:30～10:00

ご不明な点等ございましたら、地域医療連携室までご連絡をお願い申し上げます。 (地域医療連携室 箱守良浩)

## 診療トピックス ⑤8

### 抗がん薬の話



高齢化にともない、がんにかかる方が増えてきているという話題をよく耳にされると思います。実際にごんにかかる確率は、2011年では男性で62%、女性で46%とされています。

そのため、抗がん剤治療を受けられる方も多くいらっしゃいます。今回はこの抗がん薬について取り上げてみたいと思います。

#### 【抗がん薬の特徴】

抗がん薬治療とは、がん細胞の増殖をさまたげる薬を使うことによって、がんを破壊したり、小さくさせたり、今よりも大きくしないようにする治療で、「化学療法」とも言われます。手術療法や放射線療法がその場所にあるがんを治療する「局所療法」であるのに対して、抗がん薬治療は「全身治療」です。それは、飲んだり点滴したりすることで、血液の中にお薬が入り、血液に乗って全身に到達するからです。

ただし、がんの種類や進み具合、遺伝子の型などによってどの薬が効く・効かないかが異なるため、医師が診断し治療を決定します。

また、がん細胞だけでなく、他の正常な細胞にも薬が作用するため副作用が起こる可能性があります。効果を最大限に高め、副作用が出すぎない量の薬を使うために、患者さんごとに投与量が厳密に決められています。

また最近では、よりがん細胞だけを狙って攻撃する「分子標的治療薬」というお薬も次々に登場しています。分子標的治療薬は今までの抗がん薬でみられる副作用が少ないと言われており、単独で使われたり、今までの抗がん薬と一緒に組み合わせて使うこともあります。

#### 【抗がん薬の副作用】

抗がん薬は全身に行きわたり、がん細胞に対して強く働く作用をもっていますが、どうしても正常な細胞にも作用してしまいます。これが「副作用」です。

代表的な副作用について見ていきましょう。

#### ● 吐き気・食欲低下

抗がん薬といえばこちらをイメージされる方も多いかもしれませんが、しかし最近では効果の高い吐き気止めが出てきており、それらを予防で使うため、吐いてしまう方は以前に比べてずっと少なくなりました。ただ、点滴後2～3日した頃に吐き気や食欲低下が起こることもあります。その時期にはおの強い食べものは避け、無理せず食べやすいものとりましょう。また、もし吐き気があれば吐き気止めを追加することもできるので、我慢せずに申し出てください。

#### ● 脱毛

脱毛については起こりやすい薬とあまり起こらない薬があるので、あらかじめ確認しておくといいでしょう。起こる場合は抗がん剤の治療を開始してから2～3週で目立つようになることが多いです。帽子やウィッグ（かつら）、スカーフやバンダナを利用したり、あらかじめ短めな髪型にしておくことで抜け毛が気になりにくくなります。治療中は脱毛の状態が続きますが、治療が終われば3か月から半年ほどで再び髪が生え始めます。

#### ● 口内炎

抗がん剤投与後数日～10日目くらいから口の中がはれる、痛い、食べ物が飲み込みにくいなどの症状が起こることがあります。お口の中をきれいにすることで程度予防できるため、水で構いませんのでブクブクうがいを1日5～8回くらい行ったり、毎食後や寝る前にていねいに歯みがきをしましょう。

#### ● 味覚変化

お口の中の炎症や味蕾細胞の障害などで食べ物が本来の味と異なって感じたり、食感が変わることがあります。治療が終われば回復することが多いですが、症状が起こったら苦手な味を避けたり味付けを工夫してみましょう。がん患者さんのためのレシピを紹介している本なども参照してもいいでしょう。

#### ● 白血球減少

白血球が減少すると免疫機能が低下します。投与後10～14日目頃は特に感染に注意してください。うがい、手洗い、マスクなどをするといいでしょう。白血球は一時的に減っても1週間程度で元に戻りますが、減り過ぎてしまった場合には増やす注射を行うことがあります。

代表的なものを解説してみましたが、今回ご紹介しきれなかったものや、いくつかの分子標的治療薬で起こる高血圧や皮膚症状などもあります。治療の際にはお薬ごとに起こりうる副作用と対策を医師や薬剤師、看護師が説明しています。

多くは症状をやわらげる対策がありますので、遠慮なさらずにご相談ください。

#### 【治療費について】

最近のお薬には高額なものもあり心配される方もいらっしゃると思います。医療費の相談については当院では「がん相談支援センター」がありますのでご相談ください。  
(薬剤部 薬務主任 古林園子)

# A N E C D O T A (41)

## — 隠れた史実 —

元研究検査科長 高澤 博

3月13、14日の西郷・勝会談、3月20日西郷の上京、そして朝廷方への慶喜助命を含む七箇条の妥協草案の作成と慌ただしいなかで、3月28日(陽暦4.20)横浜に立ち寄った西郷は新政権の意向をパークスに伝えた。パークスは江戸の無血開城の件を直前に勝から聞いており、西郷の回答に満足した。パークスは、かねてから傷病兵治療を東海道先鋒総督参謀木梨(図)から依頼されていた記憶からか、または、新政権からの再要請があったのかは不明だが、閏4月13日(陽暦6.3)ウィリスに江戸出張を命じた。パークスは英国女王の信任状提出を閏4月1日(陽暦5.22)大坂東本願寺で済ませ横浜に帰還した直後である。このウィリスの江戸滞在は五日間で、その直後に横浜軍陣病院へ移動するという忙しさである。過ってウィリスの江戸滞在は五日の間であった。しかし、この間の事情やウィリスの医療活動はウィリスの報告書、妹への私信、東大医学部小遣い室から発見された「学校履歴 第一大学校医学校」および「横浜軍陣病院日記」(大久保利兼編、日本医学中央雑誌昭和18、19年)から明らかになった。ウィリスの5日を追う前に、日本側のウィリス雇用と臨時病院開設の公文書とも云える記述(復古記 第九冊820頁)を略記します。この背景には新政府の軍陣病院開設の意図を読み取ることが出来るので。

江戸が無血開城となった慶応4年4月11日(陽暦5.3)前後には新政府との再戦を意図した旧幕府脱走軍がいくつかあった。その一つが下総の市川に布陣した(4月11日)旧幕府歩兵奉行大島圭介脱走軍(兵員約2千)で、敗退後は宇都宮戦、白川戦を経て北上する。また、下総、上総にも4月13日、木更津に旧幕臣福田八郎右衛門率いる「撤兵隊」3千が脱走してくる。撤兵隊は幕府歩兵の予備兵力だが、新政府の武装解除に抵抗したのである。この木更津の内陸側に上総請西藩1万石の真武根陣屋があり、弱冠21歳の藩主林昌之助忠崇があり、唯一の脱藩大名で後に箱根湯本で脱走「遊撃隊」の伊庭八郎、人見勝太郎と提携を誓い徳川恢復に与力を誓う。前後するが最初の幕府脱走約は2月7日(太陽暦2.29)三番町屯所からのもので(約9百)、幕府歩兵頭古屋佐久左衛門(後述する高松凌雲の実兄)が「衝鋒隊」の領袖になり、信濃天領24万石を与えられ、戊辰戦争はこの部隊によって下野、信濃、越後へ飛び火する結果となる。しかし、旧幕府脱走軍の跋扈した房総地方や信濃地方はやがて政府軍にほぼ鎮定される、復古記には「房総地方略鎮定に就くを以て、薩摩、長州以下六藩兵前後江戸に凱旋す(閏4月13日)」。より詳しくみると「閏4月11日大多喜城降伏開城平定し、同12日江戸に着す(慶応出軍戦状)」。房総鎮静に至り、閏4月10日より諸隊陣を払い江戸へ凱旋す、佐土原兵隊も同11日午前舟に乗り、木更津港を発し夕陽品川に着し、12日馬場先門内へ凱旋する(島津忠寛家記)。岡山藩記には「閏4月11日残賊退散致し江戸城へ凱陣し、渡辺清左衛門より御口達有之、同13日高輪東禅寺へ凱旋留屯、同14日(江戸に)着陣・・・」とある。斯様な複数の戦場では多数の傷病兵が出たことは想像に難くない。【閏4月13日、大総督府、英国医師(ウィリス、著者)を雇いて兵士の創痍を療す、尋て病院を横浜に設け、使者佐藤金義を遣して、其事務を総官せしむ。明13日、英医(ウィリス、同)御召に相成候間、此間中房、総邊にて戦争有之各藩病員召連、朝四時(午前10時)頃赤羽根有馬上屋敷へ可罷出候様、被仰出候事。但、各藩医官同伴可有之事。後4月12日東海道総督府参謀(印)各通伊州藩備前藩長州藩佐土原藩小村藩薩摩藩長官(隊長)中東海道先鋒記岡山記】

この復古記の記述には矛盾した点があります。横浜軍陣病院を開設しウィリスを招きながら、他方で、江戸赤羽(根)橋にある久留米藩有馬上屋敷にウィリスを招き治療に当らせている(図1)。新政

府は江戸に軍陣病院を創設する意図があり、赤羽橋に仮の病院を置き先の経緯からウィリスを有馬上屋敷に招いて傷病兵の治療に当らせた。しかし、彼は江戸英国副領事(兼横浜副領事)の重責にあり、しかも、公使パークスの子息(精神疾患)の面倒も見なければならなかった。妥協して5日間だけ有馬屋敷を中心にして治療に専念した。サトウの日記抄(萩原7巻-103)にはウィリス側からみた江戸での5日間の治療行動の経緯が記載されています。「6月1日(陰暦閏4月11日)わたしは日本側の要請をうけ、サー・ハリー・パークスの許可を得て、薩摩などの負傷兵の治療をするために江戸へ向かった。わたしは約70名の負傷兵を診察したが、その大部分は薩摩兵で、のこりは藤堂(津)、長州、備前であった。・・・われわれになじみのふかい東禅寺(旧英国公使館宿舎)を使用していた備前藩兵からわたしが治療を依頼されたこと、・・・きわめて丁寧な待遇をうけたことは・・・かれらが外国人一般にたいして敵意をいだいていないこと、自藩の滝善三郎の死を、神戸事件(備前事件、本誌39号で触れた)にたいする正当な償いと認めていた」とあり、さらに要約すると江戸滞在は五日で、全力で負傷兵の治療にあたった。接触した諸藩の重役、医師にたいして、負傷兵を横浜に送ることの利点を説いた。横浜でなら、欧州医学にもとづく治療をいつでも受けられる(この点も横浜軍陣病院に執着したウィリスの意図があったか)。これに反して江戸の各地に分散した負傷兵と健常兵士を同居させておくのは、兵士の規律や士気に支障をきたし、戦闘の際下手まといになるとも説いた。このウィリスの報告からみると、負傷兵は有馬屋敷に集中して収容されていなかったことがわかります。現に赤羽橋以南には図1にあるように薩摩藩のほか外様大藩が多く、負傷兵を自藩に収容するのが人情であろうから。ここでいままで重い脇役を果たした木梨精一郎とパークスの写真を添えておきます(図2)。今回は横浜軍陣病院、治療内容、戊辰戦争の展開と進みます。



図1-1 嘉永尾張屋図絵 有馬上屋敷が中央に位置しその江戸屋敷図を左辺縦方向に置きました 図1-2 現在の赤羽橋から東京タワー方面を撮った桜田通りです。右方向に増上寺があります。図1-3 プロシヤ東アジア遠征隊公使オイレンブルクが日独(普)通商条約のため万延元年7月19日(1860.9.4)来航、その折に撮られた赤羽広小路の正月風景か 左に増上寺の森がみえる。



図2-1 二代目英国公使パークス(1828-85) 慶応元年閏5月(1865.7) 来日



図2-2 木梨精一郎(1845-1919) 東海道先鋒総督参謀 秋藩63石八組士に生まれ明倫館に学び文武の才あり、仙台藩討討では総軍監となり450石下賜される。維新後は長州閩の傍流を歩む。

## 梅田睦子前看護部長 瑞宝双光章受賞をお祝いしました

4月29日、「平成27年春の叙勲」が発表されました。多年にわたり国立病院機構等に勤務し、厚生行政の発展に寄与した功績により39名の方が栄えある受章をされました。関東甲信越地区では当院の前看護部長梅田睦子様を含め10名の看護職の方の叙勲が発表され5月12日には皇居豊明殿において天皇陛下に拝謁され賞状と勲章を授与されました。

6月12日には当院増田院長が発起人となり、「瑞宝双光章」受賞記念食事が開催されました。

梅田様のご功績に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。



(管理課長 木村 寿)

## ～ 夏の食事フェスタ開催 ～

\* 7月13日(月)～17日(金)  
\* 午前11:00～午後2:00

当院2階レストラン クロスワンへ是非お越しください。

### メニューのご紹介

- 7/13(月) 鮭と胡瓜のちらし寿司、千切り野菜汁(冷)、ごま豆腐、茄子とみょうがの塩もみ
- 7/14(火) ライス、チキン・ムアンパ\*、グリーンサラダ、コーンガレット、果物  
\* アフリカ ガボン共和国の料理でトマトベースの煮込み料理です。米国CNNが行った世界中の美味しい料理第10位にランクインしたものです。材料にピーナツクリームを使っています。
- 7/15(水) パン、マーガリン、白身魚ラビゴットソース、ラタトゥウ(夏野菜煮込み)、果物
- 7/16(木) ごはん、かじぎとしめじのチリソース、ビーフンの和え物、トマトオクラ和え
- 7/17(金) 冷やしカレー(グリル野菜添え)、サラダ、生姜とみょうがの甘酢、ヨーグルト

(管理課)

**夏の食事フェスタ**

- 千葉医療センターの管理栄養士と院内レストランのシェフとのコラボレーションパーティ
- ランチ**で楽しく、おいしく、健康食をお楽しみください
- エネルギー量により価格を2段階設定(1千キロカロリー=1円)  
450キロカロリー食 → 450円(税込) (小童)  
600キロカロリー食 → 600円(税込) (標準)

●期間 平成27年7月13日(月)～17日(金)  
11:00AM～2:00PM ※お申し込みが必要です

●場所 レストランクロスワン  
(2階 ファミリーマート(売店)と隣り)

## 病棟・外来紹介

### 4階東病棟

4階東病棟は、産婦人科・乳腺外科・小児科の女性と子供のための混合病棟です。今年は産婦人科の医師2名と新人助産師2名、新人看護師1名を仲間として迎え、医師は産婦人科6名、乳腺外科2名、小児科2名、看護スタッフは看護師長1名、副看護師長2名、助産師15名、看護師11名、看護助手2名の総勢41名のスタッフが勤務しています。診療科の特性から手術・化学療法目的などの予定入院の受け入れはもちろんです、小児科と産婦人科の千葉市夜間2次救急医療当番日に、夜間であっても緊急入院を受け入れているため、とても活気に満ちた病棟です。

今年度は、切れ目のない安心・安全な医療・看護の提供を目指し、継続看護の強化を目標に、病棟の看護師が婦人科と乳腺外科外来を担当しています。外来では、患者さんの診察の介助や説明はもちろんです、治療方針を選択する意思決定の場面にも同席し、不安や疑問な点について話を聞き患者さん本人や家族の方が納得して意思決定できるような支援を心がけています。

また、産科では、助産師外来や両親学級などを病棟助産師が担当し、必要な方には妊娠期から産褥期まで受け持ち助産



師が中心となって関わり、地域の保健師と連携しながら継続して支援を行います。また、当院でお産をされた方はもちろんですが、他院で出産された方でも、休息や育児支援を必要とされる方には助産師が中心となり支援を行うことを目的に、昨年11月にマミーケアハウスを開設しました。利用者は増えてきており、産後のケアの需要が高いことを実感しています。産後2カ月以内の母子が対象となりますが、休息や育児支援が必要な方がいらっしゃいましたら、是非連絡をお待ちしています。

これからも、院内メディカルスタッフや地域の医療機関スタッフとの連携を図り、患者さんや地域の方々に親しまれ、信頼していただけるような関わりを目指していきたいと思っております。

(病棟看護師長 馬場明美)



## 学生フォーラムに参加して

教員 小宮美絵

平成27年4月24日、幕張メッセ国際会議場にて第9回目となる「国立病院機構関信グループ 看護学生フォーラム」が開催されました。

メインテーマは「思いをつなぐ看護一手と手、目と目」と題し、患者さんに関わる人々が手と手を取り合う医療チーム連携の大切さを考えること、「看」という字の如く、手を目の上にかざして良く見、護れるようにいきたい、という学生の思いが込められました。

メインとなるシンポジウムでは、代表者4名による発表が行われました。そこでは、「患者が本来持つ力や意欲を引き出す為には、チームで患者の思いに寄り添うことが大切」、「患者の思いに近づくためには、患者の立場に立ち些細な変化を捉える事が大切」ということを考える内容

となりました。質疑応答は、各学校の学生が交わりながら活発な意見交換が行われ、とても充実したシンポジウムとなりました。



学校紹介では、10校の代表者達による特色ある紹介が行われました。当校の発表は、千葉医療センターが災害拠点病院として地域の支えとなり、学生の防災への意識が高まっていることや、様々な年間行事を通して3学年が一致団結していることなどを発表しました。学生は他校の紹介に熱心に耳を傾け、感嘆や笑いのある和やかな雰囲気となりました。フォーラム終了後の学生アンケートには、とてもよい学びになったという意見が多く寄せられ、学生同士が交流の中で看護を深めることができたことを感じました。

## 63期生の入学式が行われました

教員 村松優子

千葉医療センター附属千葉看護学校では、平成27年4月7日に入学式を挙行し、新入生87名を迎えました。新入生呼名では一人一人がしっかりと返事をし、希望に満ちた新入生の気持ちが伝わってきました。新入生宣誓では、「看護師の役割をきちんと理解し、患者さんとその家族の意思を第一に考え、共に治療に励むことのできる看護師になりたい。そのような看護師になるため、講義や実習を通し知識を深め経験を積みたい」と抱負を述べました。これから、専門職としての学習が始まります。年齢も経験も様々な新入生がいることが当校の強みでもあ

ります。同じ職業を目指すクラスメイトとして、良い刺激を受けながら学校生活を大切に過ごして欲しいと思います。「教



学相長ず」の教育理念のもと、人間的にも大きな成長を遂げていく新入生たちとともに、教員も互いに学び合い成長していきたいと思っています。皆様、この新入生たちが看護実践者に育つよう、温かい御指導をいただけますよう、どうぞ宜しく御願い致します。

## 「看護の日」を終えて

教員 山中清美

近代看護の基礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、毎年5月12日は看護の日と制定され、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」とされています。21世紀の高齢社会をささえていくために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合えるよう、看護者の専門知識と技術を活用し、日本中で「看護週間・看護の日」の支援活動が展開されています。千葉看護学校においても、学生自治会の看護の日実行係が中心となり、「看護の日」をPRしました。

5月11日～15日の間、実習等で患者さんと一度も接した経験の無い1年生が2年生から説明の仕方を教わりながら緊張した面持ちで、一生懸命看護の心をお伝えしようと、病院玄関前で外来にお見えになる方々に「看護の日」の由来を記したパンフレットとポケットティッシュを配りました。全校集会では「What is heart of

KANGO? Are you ready?～広げよう“看護の心”～」をテーマに3学年合同でグループに分かれ、グループディスカッションを行いました。各グループには教員も加わり、それぞれの看護や看護師に対する思いや考えを率直に話し合い、さまざまな思いに触れることができ看護を考える貴重な時間となりました。

さらに、ナイチンゲールの誕生日の12日にちなみ、12本のワクチンを海外に届けようと9,600個を目標にペットボトルのキャップ(1本のワクチンには800個必要)の回収も計画しました。(6月15日現在 5,110個回収) 看護の日の活動は、学生たちが「生活」と「生命」を守る看護の専門性を理解すると共に看護者として専門知識や技術を身につけるために努力し続けていかなければならないことや看護の心とは何かを考える良い機会となりました。



# 永年勤続表彰伝達式

平成27年4月20日、永年勤続表彰(国立病院機構表彰)伝達式が行われました。30年表彰5名、20年表彰7名の方々に表彰状と記念品が授与されました。永年にわたり医療ならびに千葉医療センターのために貢献されてこられた方々です。

## 30年表彰

外科医長	小林 純
企画課長	石橋 文和
管理課長	木村 寿
副調理師長	西宮 進
ボイラー技士	大野 久

## 20年表彰

副看護部長	田中 目子	経理係長	佐藤 孝志
副看護師長	手渡 和子	看護師	相原 直美
RI検査主任	加藤 英一	看護師	大和 千恵
病理主任	佐戸 由紀子	看護師	大塚 奈保子



### 永年勤続30年以上の表彰を受けて

外科 小林 純

大学院終了直後より当院外科に勤務し、31年が過ぎました。研修医とレジデントの2年を加えると33年になります。研修当時の毎週の外科医局会には鈴木五郎名誉院長もご出席されていました。齋藤弘院長、伊東和人副院長の時代から、消化管外科以外に肝臓切除術に力を入れて来ましたが、泌尿器科の腎臓摘出術や、婦人科の卵巣癌リンパ節郭清術のお手伝いをさせて頂いたり、耳鼻科医が不足していた時期にバセドウ病の甲状腺全摘出術を経験したり、麻酔科医がいなくなった時には手術室担当を命じられたりしましたが、現在は輸血管理もしています。囲碁を西沢直心臓血管外科医長に教わり、初段を持っておりますので、今後昇段を目指す積りです。



### 永年勤続表彰を受賞して

栄養管理室 副調理師長 西宮 進

長いようで短いような30年でした。昭和60年2月1日付で国立東京第2病院(現国立病院機構東京医療センター)に採用され20年間勤務後、平成16年4月1日付で当院に異動して来ました。着任後すぐに20年表彰をこの施設で頂き、何か凄く不思議な気持ちがあった事を今でも思い出します。異動して来た当時は生活や職場環境も変わり時には挫折しそうなこともありましたが、上司や仲間、そして忘れてはいけない家族の支えにより今日があることを思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも患者さんに安心して食べて頂ける美味しい食事が提供出来るよう勤めたいと思います。今後ともご指導の程をよろしくお願い致します。



### 永年勤続表彰を頂いて

企画課長 石橋 文和

「あっと!!」という間の30年でした。昭和60年3月に国立柏病院に採用となり、がんセンター東、霞ヶ浦、千葉、国際医療、国府台、関信厚生局と異動し、平成16年4月の独法化後は、関信ブロック、厚労省、千葉東、平成26年4月からは、2度目となります当院で勤務させて頂いております。勤務地としては、10ヶ所目となります。振り返れば、今まで様々なことを経験させて頂きました、病院の統廃合から始まり、医薬品の共同購入入札や新たなイベントの立ち上げ等々、私のキャパでは大変でしたが、厚労省での経験は貴重なものとなりました。こんな私が30年間何とかやってこられたのは、各職場でお世話になりました皆様の御陰だと思っております。心から感謝申し上げます。現状に満足せず、精進して参りますので、今後ともご指導、ご協力の程よろしく申し上げます。



### 永年勤続表彰

ボイラー技士 大野 久

永年勤続30年表彰を頂き、有難うございます。昭和60年4月、ボイラー技士として国立柏病院で採用になり、その後平成4年7月の統廃合により国立千葉病院へ、名称変更にて千葉医療センターのボイラー室で働いてきました。これまでの30年間は職場の皆様に支えられ、ここまで働くことが出来、心より感謝申し上げます。現在、新棟になってからは中央監視室で新たな人たちが加わり患者さん、千葉医療センターで働く方々が安全に過ごせる良い環境をつくれる様に今まで積み重ねてきた経験を生かし日々努力して千葉医療センターのため仕事をしていきたいと思っております。今後ともご指導の程、よろしく願いいたします。



### あれから・・・30年・・・

管理課長 木村 寿

昭和59年10月、まぐれ?で国家公務員試験を合格した私は、進学のための勉強や就職活動に翻弄する同級生を尻目に遊び惚けており、翌年の1月までどこからも採用面接等の連絡がなく、今度は就職出来るのだろうかかとひとり焦っていたことを思い出します。運良く国立療養所箱根病院(現在は国立病院機構箱根病院)に拾ってもらい、あれから・・・30年・・・30年間も経っているのにまだまだだ、と言われそうですが、微力ながらも在職してきた施設の発展に貢献してきた日々の積み重ねを証明して頂くと感謝しております。残りの日々は決して長くはありませんが、より一層努力していく所存ですので、更なるご指導・ご鞭撻の程よろしく申し上げます。



### 20年を経過して

経理係長 佐藤 孝志

平成7年4月に勤め始めてから20年がたちました。その間、4つの病院で勤務し、平成16年4月には独立行政法人に、さらに今年4月からは非公務員化と変わって行きました。実際20年経過していますが、20年も経過した気がしません。今でも、初出勤の時に事務所の前で同期採用者と話したことは覚えていますが、また独立行政法人になり今までのやり方が変わってしまい、改めてやり方を覚えるなど新人の頃に戻った気になった事を思い出しながら改めて振り返ると、周りの人に色々教わり、助けられてここまでこれた事を実感します。20年が経過し、定年まで折り返し地点に来ましたが、今までの20年が短く感じられたので、定年まであっといふ間なのかもしれないと思いますが、これからも精進していきたいと思っております。

# 市民健康セミナーの開催

当院では千葉市民の皆様へ健全な生活を営んで頂くために、少しでもそのお手伝いができればと考え、8月を除く毎月「市民健康セミナー」を当院地域医療研修センターで開催しております。

## 4月～6月に行われたセミナー

- 4月23日(木)**  
「健康寿命を考える」  
講師：外来管理部長(総合内科医長) 後藤 茂正
- 5月28日(木)**  
「がん治療と薬の話」  
講師：薬剤科 古林 園子
- 6月25日(木)**  
「当院歯科口腔外科で試みている治療について」  
講師：歯科口腔外科医長 中津留 誠

## 今後の予定

第4木曜日 午後2時から4時  
会場：当院地域医療センター

**7月23日(木)**  
「パーキンソン病の最近の話題  
ーリハビリテーションを含めてー」  
講師：神経内科医長 古本 英晴

**9月24日(木)**  
「血管(動脈)の病気について  
～人は血管と共に老いる～」  
講師：心臓血管外科医長 平野 雅生

★8月は、市民健康セミナーはお休みします。

セミナーに10回参加された方には  
記念品をさしあげます。

## 専門外来担当医師表

診療科	月	火	水	木	金
和漢診療科		永井千草 8:30～13:00 完全予約制	永井千草 8:30～13:00 完全予約		
腎内科(内科)			上田志朗 <第2・4水曜日>8:30～11:00		
不整脈外来(循環器内科)			上田希彦<第2・4水曜日> 14:00～16:30 完全予約制		
ヘルニア専門外来(外科)				山本海介 13:00～15:00	
緩和ケア外来(外科)		豊田/石田 手渡(認定看護師) 13:30～15:30 完全予約制	豊田/石田 手渡(認定看護師) 9:30～11:00 完全予約制		
ストーマ外来(外科)					谷(認定看護師) 外来診察時間内
禁煙外来(外科)			菰田 弘 13:00～ 完全予約制	守 正浩 14:00～ 完全予約制	
肛門外来(外科)<完全予約制>	守 正浩 14:00～16:00				
助産師外来(産婦人科)		<完全予約制>		<完全予約制>	
性カウンセリング(総合診療室)				大川 玲子 8:30～17:00 完全予約制	

## 検査担当医師表

診療科		月	火	水	木	金
胃内視鏡検査 (午前)		金田/菰田	田村 玲	斉藤 正明	阿部 朝美	伊藤 健治
		里見 大介		里見/土岐	福富 聡	
大腸ファイバー(午後)		内科交替医	外科交替医	外科交替医	外科交替医	内科交替医
超音波	腹部	菰田 弘	阿部 朝美	田村 玲	伊藤 健治	杉浦/金田
	心臓				山田 善重 <第2・4水曜日> 午前	高見 徹

## 編集後記

梅雨入りしてからというもの、局地的な集中豪雨や雹(ひょう)の被害が出ています。梅雨前線による長雨というより、今年もゲリラ豪雨のような激しい雨の降り方です。記録的な短時間での雨量はこれからも更新し続けていくのでしょうか。サッカー女子ワールドカップにおいて、日本代表チームは予選1位という華々しい結果となりました。決勝トーナメントでは、強豪国とのハイレベルなプレーを存分に楽しみたいものです。  
頑張れ! なでしこジャパン、佐々木監督 二連覇だ! (K)

## 【編集委員名簿】

(編集長 杉浦 信之)  
(副編集長 三井 光義)  
(木村 寿) (伊藤 博) (打矢 直記)  
(奥澤 武幸) (田中 且子) (佐藤 厚子)

外来診療担当医師表 “聞く” “聴く” “訊く” の対応を! 平成27年7月1日より

診療科		月	火	水	木	金	
		受付時間は原則として、平日(月曜日から金曜日)の8:30から11:00まで					
内科	新患	杉浦信之 斉藤正明	杉浦信之 斉藤正明	杉浦信之 石田琢人	森 泰子 田村 玲(第1・3木曜日) 菰田 弘(第2・4木曜日)	斉藤正明 岡澤哲也	
	再診	呼吸器内科 新患は紹介制	丸岡美貴 安田直史	西村大樹 栗山 彩花	江渡秀紀 栗山 彩花	丸岡美貴 西村大樹	江渡秀紀 安田直史
		消化器内科 (消化管、肝、胆、胰)	伊藤健治 田村 玲	金田 暁 大黒 晶子	金田 暁<予約制> 伊藤健治 阿部朝美 徳長 鎮(第1・3水曜日)	篠崎勇介 西村光司	阿部朝美 明杖直樹
		総合内科		菰田 弘		後藤茂正(血液)	石田琢人
	糖尿病代謝内科 新患は紹介制	島田典生 大原恵美	石塚伸子	島田典生	岡澤哲也 由井健智	島田典生 徳山宏丈	
神経内科 新患は紹介制・予約制	中村圭吾	古本英晴	中村圭吾	古本英晴	三津間 さつき		
精神・神経科 新患受付は月・水・金(全予約制)	新患	池田克人		焼田まどか		吉村政之	
	再診	海宝美和子 吉村政之	吉村政之 中山裕一(午前)	海宝美和子 池田克人	焼田まどか	焼田まどか 池田克人	
循環器内科 新患は紹介制 月曜日は完全予約制	高見 徹 <完全予約制>	久保健一郎 受付は10時まで	宮澤一雄 受付は10時まで	高見 徹 受付は10時まで	中里 毅 受付は10時まで		
小児科	重田みどり	新井ひでえ	重田みどり	重田みどり	新井ひでえ		
外科・消化器外科	森嶋 友一 福富 聡 榊原 舞 守 正浩	[交替医]	豊田康義(緩和ケア) 山本海介 利光靖子 石毛孔明	小林 純 里見 大介 土岐 朋子	[交替医]		
	乳腺外科 紹介制・完全予約制	鈴木正人 中野茂治	鈴木正人 中野茂治	手術日	鈴木正人 中野茂治	鈴木正人 中野茂治	
	整形外科 火・金の受付は10時まで	大河昭彦 阿部 功 村上宏宇 白井周史	[交代医] 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	大河昭彦 阿部 功 佐久間詳浩 縄田健斗	村上宏宇 白井周史 佐久間詳浩 縄田健斗	[交代医] 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	
		股・膝関節外来 完全予約制		阿部 功(股関節) 14時～15時30分	白井周史(膝関節) 13時30分～15時		
形成外科 木曜日は完全予約制	手術日	鈴木文子 三木規子	手術日	鈴木文子 <完全予約制>	鈴木文子 三木規子		
脳神経外科	丹野裕和 尾崎裕昭	丹野裕和 川崎宏一郎	丹野裕和 大石博通	手術日	尾崎裕昭 川崎宏一郎		
呼吸器外科	斎藤幸雄	手術日	斎藤幸雄	斎藤幸雄 芳野 充	手術日		
心臓血管外科			平野雅生		増田政久		
皮膚科 木曜日は完全予約制/月曜日の受付は10時まで	大久保倫代 秋田 文	大久保倫代 秋田 文	大久保倫代 秋田 文	角田寿之 <完全予約制>	大久保倫代 秋田 文		
	泌尿器科 水曜休診 金曜の受付は10時まで 新患は紹介制	佐藤直秀 川名庸子 一色真造 宮内武弥	一色真造 櫻山由利	手術日	佐藤直秀 川名庸子 櫻山由利	[交替医] 手術日 受付は10時まで	
産婦人科 新患受付は月・水・金(紹介制)	岡山佳子 山縣麻衣 黒田香織(産)	<完全予約制>	岡嶋祐子 山縣麻衣(産)	<完全予約制>	岡嶋祐子 岡山佳子(産)		
	眼科 新患は紹介制 再診は予約制 受付は10時まで	新井みゆき 窪田真理子 大岡恵美 戸辺 文	根岸久也 新井みゆき 窪田真理子 戸辺 文	根岸久也 新井みゆき 大岡恵美 戸辺 文	[交替医] 手術日 ※新患のみ	根岸久也 窪田真理子 大岡恵美 戸辺 文	
頭頸部外科・耳鼻咽喉科 新患は紹介制 再診は予約制 火・水の受付は10時まで	渋谷真理子 坂本夏海 藤川 陽	渋谷真理子 鈴木 誉 受付は10時まで	[交替医] 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	手術日	鈴木 誉 坂本夏海 藤川 陽		
放射線科 治療	酒井光弘<予約制>		酒井光弘<予約制>		酒井光弘<予約制>		
歯科口腔外科 再診は予約制	中津留 誠 嶋田 健 坂詰智美	中津留 誠 嶋田 健 坂詰智美	中津留 誠 嶋田 健 坂詰智美	中津留 誠 嶋田 健 坂詰智美	中津留 誠 嶋田 健 坂詰智美		
	病理診断科	<完全予約制(月～金)>					

※専門外来・検査担当表は11ページに掲載しています。